

リトリートカンファランス 年表

	開催日	演題名	演者	人数
1	平成14年7月24日	判りやすいACLS 1. 新しい心肺蘇生のガイドライン 2. アルゴリズムの説明 3. ビデオ・デモンストレーション 4. IMCJにおけるACLSコース 5. ACLSコースの先進性	・富岡譲二緊急治療医長 ・宮島医師 ・佐野哲孝医師 ・畑岸医師 ・木村昭夫緊急部長	169
2	平成14年9月11日	1. ピロリ菌と胃がん 2. 診療報酬改訂	・上村直実内視鏡部長 ・今村孝雄庶務課長	143
3	平成14年10月23日	1. 結果治療の新しい方向 2. 脳梗塞の最近の治療	・工藤副院長、此崎検査技師、豊田恵美子医長、東野副看護師長、小林医長、 ・國本雅也医長、上坂義和医長、羽井佐利彦医長、藤谷順子医長	130
4	平成14年11月20日	褥瘡チームの取り組み		126
5	平成14年12月18日	1. 肝癌の集学的治療ーラジオ派を中心としてー 2. 生活習慣病への取り組み	・今村雅俊医長 ・葛谷部長、梶尾医長	132
6	平成15年1月22日	1. アフガニスタン医療協力の報告 2. 再生医療の今後	・宮島生夫研修課長、小山内泰代派遣協力課看護師 ・玉木毅医長、松林薫美医長、廣江道昭部長	113
7	平成15年2月19日	1. 地域医療連携と在宅医療について 2. こんなこともできる内視鏡下手術	・工藤宏一郎副院長、伊藤顕彦伊藤外科院長、英裕雄新宿ヒロクリニック院長、大野邦彦大野医院院長 ・寺島裕夫医長、奥脇英人医師、桂川陽三医長	151
8	平成15年3月19日	後発医薬品ってなあに？ 1. 診療報酬との関係は？ 2. 国立病院の医薬品等購入費における後発品の役割 3. なぜ今後後発医薬品なの？	・雨宮敏夫医事専門官 ・山口 耕会計課長 ・三島薬剤部長	107
9	平成15年4月16日	「定位的放射線治療を中心とした放射線治療の進歩」 1. 定位的治療一般に関して 2. 放射線治療全般の中での定位的放射線治療が持つ意義に関する報告、その後の放射線治療の進歩に関して 3. 体幹部腫瘍の定位的放射線治療に関して	・近藤達也院長 ・伊丹 純医長 ・原 竜介医師	64
10	平成15年4月23日	SARS等新感染症の対応について 1. 異型肺炎の概念と治療 2. ヴィエトナム・ハノイ・香港・広東におけるSARSに関する報告 3. 新感染症病棟、外来棟の対応 4. 看護における対応 5. 診療報酬上の取扱い	・工藤宏一郎副院長 ・川名明彦医長、照屋勝治医長、小原博派遣協力専門官、切替照雄感染・熱帯病研究部長 ・岡慎一臨床研究開発部長 ・浅沼智恵看護師長 ・藤田順一医事班長	233
11	平成15年5月28日	SARS等新感染症の対応について 1. 異型肺炎の概念と治療 2. ヴィエトナム・ハノイ・香港・広東におけるSARSに関する報告 3. 新感染症病棟、外来棟の対応 4. 看護における対応 5. 診療報酬上の取扱い	・川名明彦医長、照屋勝治医長、小原博派遣協力専門官、切替照雄感染・熱帯病研究部長 ・岡慎一臨床研究開発部長 ・浅沼智恵看護師長 ・藤田順一医事班長	256
		嚥下障害と栄養管理		

	開催日	演題名	演者	人数
12	平成15年7月2日	1. 栄養評価と経腸栄養の必要性 2. 経口摂取障害の評価をその対策	・河内正治部長 ・田山二郎医長	86
13	平成15年7月2日	1. コンピューター支援手術 2. ロボット手術(ダビンチ)	・黒木啓文医長、田山二郎医長、原 徹男医長 ・寺島裕夫医長	44
14	平成15年7月18日	「創傷治癒とガーゼ」	相澤病院外傷治療センター長夏井 睦先生	130
15	平成15年8月26日	慢性頭痛への対処～特に片頭痛の治療と進歩～ ・緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛 ・危険な頭痛(頭痛を心配しないために) ・片頭痛治療の実際	・神経内科 國本雅也医長 ・上坂 義和医長	176
16	平成15年9月17日	病院マネージメントのあり方とその実際	東京大学医学部附属病院長 永井 良三教授	83
17	平成15年10月15日	疼痛コントロール ・癌による痛み～痛みの特徴と治療～ ・癌性疼痛を持った患者様の在宅医療の一例	・麻酔科医長 河内正治医長 ・緩和ケア科医長 有賀 悦子医長	181
18	平成15年11月13日	退院支援	東京大学医学部老年病学 大内 尉義教授	167
19	平成15年11月19日	冬季SARS流行の予想と対策 ・当センターの対策 ・各対策班から 1. 感染対策班 2. SARS診療班 3. 知見データ班 4. 派遣班	・木村哲治療研究開発センター長 ・岡慎一臨床研究開発部長 ・倉辻忠俊副研究所長 ・小原博派遣協力専門官	180
20	平成16年1月21日	患者中心のチーム医療における看護師の役割～癌看護を通して～ 1. がん看護について 2. 合同カンファランスからチーム医療を考える 3. インフォームドコンセントにおける看護師の役割 4. ターミナルケア研究会の活動	・切手純代副看護師長 ・庄野純子副看護師長、藤島美和看護師 ・岩丸陽子副看護師長 ・鈴木直子看護師、切手純代副看護師長	120
21	平成16年2月26日	「生と死の戦い」重症患者が教えてくれた医学	日本大学医学部救急医学教室 林 成之	
22	平成16年3月31日	今日の大腸癌～最新の診断・治療戦略～ 1. 早期大腸癌の内視鏡診断と治療 2. 進行大腸癌の手術とその成績	・為我井芳郎医長 ・斉藤幸夫医長	128
23	平成16年4月21日	PET(ポジトロン断層)検査入門 1. PETとは 2. PETの特徴 3. PETの有用性 4. PET検査の注意点 5. 心筋の検査について 6. PETの安全性	・窪田 和雄 医長	95
24	平成16年5月19日	栄養管理とIMCJの現状 1. IMCJ栄養士の活動 2. IMCJ入院患者の栄養状態について 3. NSTを作ろう!	・長谷川栄養係長 ・杉山栄養管理室主任 ・河内正治部長	83
25	平成16年6月16日	チーム医療 1. 「原発性肺高血圧合併妊娠・出産をチーム医療で成功した一例」 コメンテーター:河内 正治第一病棟部長(麻酔科)「麻酔と産科のかかわり」 2. 「本症例の出生以後の経過と現実の日本の新生児医長の現状	・菊池 聡子医師、河内 正治部長 ・國方 徹也四階南病棟医長(小児科)	126

	開催日	演題名	演者	人数
		・・国際母子構想に向けて」 3. 「合併症妊娠取扱いの注意点及び国際母子TFについて - 国際母子センターの目指すもの-	・箕浦 茂樹産科医長	
26	平成16年7月21日	「睡眠時無呼吸症候群(SAS)」 - 複数科によるアプローチ コーディネーター田山 二郎耳鼻咽喉科胃医長	・呼吸器科 吉澤 篤人医師 ・神経内科 國本 雅也医長 ・歯科・口腔外科 田上 正医長 ・耳鼻咽喉科 熊谷 讓医師	108
27	平成16年8月18日	「国際医療センターの国際の意味を考える。」 - 組織作り、仕組みづくりの視点から- ・国際医療協力はどんな仕事なのか、どんな内容なのか ・国際医療の経験は何に役立つのか 1. バクマイ病院での救急部確立について 2. 生活習慣病教室での国際医療協力の経験の活用 3. 国際母子保健センターの理念形成と開発途上国の母子保健対策	・仲佐 保派遣協力課長 ・木村 昭夫緊急部長 ・梶尾 裕内内分泌代謝科医長 ・藤田 則子派遣協力専門官	97
28	平成16年9月15日	交感神経-その本質に迫る:複数科によるアプローチ 1. 交感神経とは何か(交感神経系概論) 2. 交感神経ブロックと適応疾患 3. 頸椎疾患と交感神経 4. 頸椎疾患と手術手技	コーディネーター 河内正治(第一病棟部長) 1. 神経内科 上坂 義和 2. 麻酔科 河内 正治 3. 脳神経外科 近藤 達也 4. 脳神経外科 原 徹男	115
29	平成16年11月4日	人を動かす・自分を変える-新しい医療人のあり方-	北原脳神経外科病院理事長 北原 茂実先生	130
30	平成16年11月17日	ICTの活動、我々の院内感染制御 1. ICTが目指すもの 2. 病棟ラウンドについて 3. 針刺し事故の現状 4. 呼吸器症状サーベイランス 5. 院内感染事例 遺伝子解析を用いた証明	コーディネーター 菊池 嘉 1. 専門外来 照屋 勝治 2. 感染管理看護師(ICN)堀井 久美 3. 感染管理看護師(ICN)黒田 恵美 4. 特別疾病征圧班医長 川名 明彦 5. 感染制御研究部長 切替 照雄	117
31	平成16年12月15日	看護の専門性を追求して ~国立国際医療センターの認定看護師の活動と発展~ 1. 専門看護師・認定看護師と治験って何? 2. 治験看護師 3. がん性疼痛認定看護師 4. WOC認定看護師 5. 感染管理認定看護師	コーディネーター 看護部長室 木村 弘江 1. 治験管理室 児島 里美 2. 11階南病棟 加藤 美鈴 3. 5階北病棟 石川 環 4. 医療安全管理室 黒田 恵美 5. 9階南病棟 堀井 久美	111
32	平成17年1月20日	病診連携 1. 病診連携 Wの会~診療所側の取り組みと考察~ 2. 病診連携 Wの会~病院側の取り組みと考察~ 3. 総括	コーディネーター 清水 利夫(副院長) 1. 丹羽 義和 先生 にわメディカルクリニック 院長 2. 山室 渡 先生 済生会神奈川病院 副院長 3. 中村 眞巳 先生 中村胃腸科内科 院長	132
33	平成17年2月16日	がん性疼痛緩和 ~ケアの基本と内服治療を中心に~ 1. 痛みの考え方と看護師のからのアプローチ 2. オピオイドの基本と特徴 3. 症例からみるがん性疼痛緩和の実際	コーディネーター 前原 康宏 1. がん性疼痛看護認定看護師 加藤 美鈴 2. 薬剤師 貴船 亮仁 3. 緩和ケア科 有賀 悦子	145
34	平成17年3月8日	災害支援の現場から~スマトラ沖地震と中越地震の場合~ 1. 災害医療とは何か? 2. スマトラ沖地震の現場から 3. 中越地震の現場から	コーディネーター 仲佐 保(派遣協力第二課長) 1. 富岡 譲二(緊急治療医長) 2. 明石 秀親(派遣協力課医師) 3. 後藤 久美子(10階北病棟看護師長) 3. 早川 依里子(小児科医師) 加世田 久美子(集中治療室看護師長)	112
35	平成17年4月20日	がん性疼痛管理-その②- 1. 放射線治療 原 竜介(放射線科) 2. 経皮的椎体形成術 蓮尾 金博(放射線科診療部長) 3. がん性疼痛の管理方法のまとめ 河内 正治(手術部長)	司会 河内 正治(手術部長) 1. 原 竜介(放射線科医師) 2. 蓮尾 金博 (放射線科診療部長) 3. 河内 正治(手術部長)	71

	開催日	演題名	演者	人数
36	平成17年5月18日	アレルギー疾患(その1)喘息 1. アレルギーとは 2. 成人喘息 3. 小児喘息 4. 吸入療法とその指導	司会 小林 信之 小林 信之(呼吸器科医長) 放生 雅章(13階病棟医長) 早川 依里子(小児科医師) 千田 昌之(薬剤部)	131
37	平成17年6月15日	—アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎— 1. アトピー性皮膚炎 2. 小児アトピー性皮膚炎 3. アレルギー性鼻炎 4. アトピー性皮膚炎の眼症状	玉木 毅(皮膚科医長) 早川 依里子(小児科医師) 田山 二郎(耳鼻咽喉科医長) 武田 憲夫(眼科医長)	100
38	平成17年7月1日	NSTの果たすべき役割	司会 河内 正治 ・藤田保健衛生大学 外科学・緩和ケア講座教授 東口 高志先生	142
39	平成17年7月28日	将来、国際医療協力を目指す人たちのために 1. 国際医療協力:派遣課に入り、見た初めての世界 2. 海外協力の長期の実践から、国際協力の研究まで 3. ひたすら 国際協力25年 —日本のイニシアチブとなったIMCJの活動—	司会 仲佐 保 後藤 美穂(派遣協力課助産師) 小山内泰代(派遣協力課助産師) 仲佐 保(派遣協力第二課長)	93
40	平成17年9月21日	METS(代謝症候群)をめぐって 1. 代謝症候群とは 2. 生活習慣病と糖尿病の発症 3. センターとしてのこれからの代謝症候群への取り組み	司会 廣江 道昭 高橋 義彦(内分泌代謝科医師) 野田 光彦(臨床検査部長) 木村 壮介(第一専門外来部長)	90
41	平成17年10月21日	ハンセン病 療養の現状 1. 挨拶 2. ハンセン病とは 3. 栗生楽泉園とハンセン病療養の現状 4. 奄美和光園とハンセン病の保険行政 5. 奄美和光園での経験 6. 栗生楽泉園での経験 7. レジデント教育としての院外への協力 8. 質疑応答 9. まとめ	司会 櫻田 光夫 清水 利夫(副院長) 栗生楽泉園園長 東 正明 " 奄美和光園園長 前川 嘉洋 藤本 雅史(リハビリテーション科) 山下 裕之(総合診療科) 正田 良介(教育部長) 笹月 健彦総長	109
42	平成17年11月21日	骨粗鬆症 —医療者として、将来患者として— 1. 更年期と骨粗鬆症 2. 骨粗鬆症の治療薬について 3. 骨粗鬆症の診断と治療 4. 転倒・転落予防の取り組みについて 5. 職員の皆様の骨粗鬆症予防	司会 黒木 啓文 産婦人科 榎谷 法生(指導医) 薬剤部 松本淳二(無菌製剤主任) 整形外科 黒木啓文 10階北病棟看護師長 後藤由美子 リハビリテーション科医長 藤谷順子	90
43	平成17年12月21日	自然災害における医療活動に備えて—パキスタン北西部地震災害— JMTDR(国際緊急援助隊医療チーム Japan Medical Team for Disaster Relief)の説明 1) パキスタンの状況と災害 2) 国際緊急援助隊医療チーム1次隊に参加して —地震災害と外傷— 3) 国際緊急援助隊医療チーム2次隊に参加して —災害時における携帯X線装置の有用性について	司会 仲佐 保 仲佐保(派遣協力課第二課長) 東京大学 アリ氏 派遣協力課 土井正彦 放射線部 藤本幸宏	68
44	平成18年1月18日	発熱のある海外渡航者の診療 1. トラベルクリニックの地域での役割 2. 海外渡航者の発熱の見方 3. マラリア 4. デング熱 5. 呼吸器感染症	総合司会 工藤宏一郎 DCC渡航者健康管理室医長 金川修造 ACC・DCC渡航者健康管理室 源河いくみ 国際医療協力局・DCC渡航者健康管理室 水野泰孝 呼吸器科・DCC特別疾病制圧班 加藤康幸 DCC特別疾病制圧班医長 川名明彦	100

	開催日	演題名	演者	人数
45	平成18年2月15日	1) 挨拶 2) 院内各部署とACCの連携 3) 抗HIV治療の変遷 臨床的な事の質疑の時間 10分程度 4) はばたき福祉事業団理事長からお言葉 5) 厚生労働省医政局国立病院課長からお言葉	総合司会 菊池 嘉 木村 哲 治療研究開発センター長 菊池 嘉 治療研究開発センター病棟医長 岡 慎一 臨床研究開発部長 大平 勝美 はばたき福祉事業団理事長 外山 千也 厚生労働省医政局国立病院課長	141
46	平成18年3月15日	「母と子や家族にやさしい病院づくりー国際母子センターのめざすものー」 1. はじめに、ー総合診療をめざす当センターにおける国際母子の重要性 2. 地域連携の新たな試みー地域の助産所と連携した周産期体制の構築ー 3. 最高の新生児医療をより多くの人に 4. 変貌する小児の医療の時代を迎えてー小児医療の直面する問題と今後ー 5. 国際協力における母子保健の重要性、そして途上国と日本の母子保健の課題や取り組みの類似点 6. HIV感染妊娠と新生児の実績ー総合診療の一例としてー	総合司会 箕浦 茂樹 箕浦茂樹 (産婦人科) 三島典子 (助産師) 国方徹也 (小児科) 佐藤典子 (小児科) 小原ひろみ (協力局) 小早川あかり (産婦人科)	83
47	平成18年4月19日	『不整脈治療 up to date』 1. カテーテルアブレーションと電気生理学的検査 (EPS) 2. ペースメーカーと植込み型除細動器 (ICD) 3. 不整脈の外科手術 (Maze手術) 4. 心室再同期療法 (CRT) および医師主導型治療 5. 質疑応答	総合司会 岡崎 修 (10階南病棟医長 循環器科) 副島洋行 (循環器科医師) 櫻田光夫 (循環器科医長) 保坂 茂 (心臓血管外科医長) 岡崎 修	98
48	平成18年5月17日	血液浄化療法の威力 1. 血液浄化療法 概説 2. HD/HDFの看護 LDL 3. LDLアフェレシス 4. 関節リウマチの白血球除去カラム治療 5. 劇症型肝不全と血液浄化法・・・血漿交換の意義 6. 血液浄化療法を利用した重症感染症に対するー外科の取り組みー 7. 心臓血管手術周術期における血液浄化法 8. 質疑応答	総合司会 日ノ下 文彦 腎臓内科 日ノ下文彦 特殊診断治療部看護師長 丹治 郁子 腎臓内科 中村 太一 膠原病科 三森 明夫 救急部 佐藤 守仁 外科 須田竜一郎 心臓血管外科 賀嶋俊隆	120
49	平成18年6月14日	「アスベスト」 ～あなたも正しい認識を！～ 1悪性胸膜中皮腫とはどんな病気？ 1) 内科的な診断と治療 (15分) 2) 外科的な診断と治療 (15分) 2.石綿の健康障害とその対応 (60分:質疑応答を含む)	総合司会 小林 信之 呼吸器科 石井 聡 呼吸器外科 森田 敬知 横浜労災病院 アスベスト疾患ブロックセンター長 武内 浩一郎先生	122
50	平成18年7月19日	夢を語る「MSSC(運動感覚制御)グループ」の活動」 1. MSSCとは 2. 事例1 Bell麻痺と顔面痙攣 1) 耳鼻科 診療科紹介 2) 神経内科 診療科紹介 3) リハビリ科 リハビリ 4) 麻酔科 星状神経節ブロック 5) 形成外科 Bell麻痺後の形成 6) 眼科 兎眼 7) 脳神経外科 顔面痙攣への手術 3. 事例2 足の変形と靴 1) 整形外科 外反母趾等 2) 皮膚科 足のたこ、巻き爪 3) リハビリ科 靴の外來紹介 4. MSSCホームページと今後の勉強会の予定 質疑応答	総合司会 國本 雅也 國本 雅也 大木 雅文 上坂 義和 藤谷 順子 前原 康宏 松林 薫美 武田 憲夫 原 徹男 桂川 陽三 玉木 毅 藤谷 順子 武田 憲夫	68
	平成18年9月20日	①放射線検査の医療安全 特にCT・MRI検査について 放射線診療部で行われている放射線画像診断検査のCT検査及びMRI検査の医療安全についてお話しします。 ②PET検査を効果的に利用していただくために：PETの臨床利用	総合司会 小林 一三 (診療放射線部技師長) 放射線診療部主任 藤田知之、大沼裕	

	開催日	演題名	演者	人数
51		PET検査は全身の腫瘍診断、てんかんの病巣診断、心筋バイアビリティ診断、炎症病巣の診断などに有用です。当院での様々な臨床例(主にPET-CT)を紹介し、効果的な使い方、PETの限界について説明します。また、保険適応や検診利用についての最近の動向も解説します。 ③質疑応答	第三放射線科医長窪田和雄	64
52	平成18年10月18日	「わが国における専門医制度の将来構想」 横浜労災病院院長 藤原研司先生 質疑応答	総合司会 正田良介(総合外来部長) 正木尚彦医長、矢郷祐三先生	90
53	平成18年11月15日	職員の健康を守る(医師のメンタルヘルス等) 1. 職員の健康管理の仕組み 2. 職員のメンタルヘルス 3. 針刺し事故防止 4. 職場の呼吸器感染症対策 5. 職員の健康管理を脅かす院内感染の蔓延 6. 質疑応答	総合司会 清水利夫(副院長) 1. 庶務課 厚生係 2. 今井 公文 精神科医長 3. 黒田 恵美 13階北病棟副師長 4. 杉山 温人 12階南病棟医長 5. 切替 照雄(感染症制御研究室長)	76
54	平成18年12月20日	院内暴力をいかに予防、対応すべきかー医療者として考えよう 1. 看護の現場からの報告「セクシャルハラスメントへの対応と予防」 2. 診療の現場からの報告「緊急診療の現場での暴力行為について」 3. 医療者のための院内暴力行為への対応と予防	総合司会 盛 真知子看護師長(リスクマネージャー) 1. 大柄 昭子(臨床教員) 2. 朝日 茂樹(緊急外来医長) 3. 下里 誠二(国立看護大学校精神看護学講師)	85
55	平成19年1月17日	「新臨床研修制度～開始3年、その現状を理解するために～」 新臨床研修制度について 指導医講習会について 外科医師 臨床研修システムの評価について 当センターの現状について～研修修了認定、他院との比較など まとめ 懇親会 研修センター地下1階 職員食堂	総合司会 循環器科医長 櫻田光夫 厚労省臨床研修審査専門官 村岡 亮 外科 枝元 良広 循環器科医長 櫻田 光夫 総合外来部長 正田 良介 病院長 近藤達也 菊地 嘉(臨床研究開発部長)	78
56	平成19年2月7日	主題:「病院と在宅療養の連携:自宅退院をスムーズに成功させるには」 ・「担癌患者を在宅療養にもっていくには」 ・「在宅医療を行う側より、病院に求めること」 「在宅医療でできること」 「紹介されたけれど詰めの甘かった症例」 ・「退院調整について」 質疑応答	総合司会:矢郷祐三(レジデントチーフ:消化器科) 緩和ケア科 医長 有賀悦子 新宿ヒロクリニック 院長 英 裕雄先生 コンフォガーデンクリニック 院長 木下朋雄先生 リハビリテーション科 医長 藤谷順子	113
57	平成19年3月28日	主題:「救急におけるめまいの取扱い」 ・「中枢性めまいの診断と対応」 ・「脳神経外科的疾患とめまい」 ・「末梢性めまいの診断と対応」 質疑応答	総合司会:田山二郎(耳鼻咽喉科医長) 神経内科 竹内 壮介 脳神経外科 大野博康 耳鼻咽喉科 大木 雅文	47
58	平成19年4月18日	NST(栄養サポートチーム)の実際 ・平成18年度診療報酬改定後 入院患者の栄養管理はどう変わったか ・国際医療センターNSTについて ・NST活動状況 ・症例報告 ① 外科系NST活動の内容 アウトカムの検討-外科系(みどりチーム) ② NST活動による薬剤使用量の変化 ③ 造血幹細胞移植患者へのNST介入の効果について-血液内科(あかチーム)	総合司会:河内正治(手術部長) 国際医療協力局長 麦谷真理 手術部長・NST運営委員長 河内正治 栄養管理室長 秋葉 正文 管理栄養士 若菜宣明 NSTが介入した症例を分析して-呼吸器内科(あおチーム) 及川 晶美 薬剤師 森 達也	104
59	平成19年4月26日 (臨時)	「米国に見る、臨床現場におけるSSI(Surgical Site Infection)対策の実際と安全問題」	総合司会:枝元良広(外科)・木村壮介(心臓血管外科・第二専門外来部長) 特別講師:北浜昭夫先生(米国チューレン大学医学部、臨床外科教授)	107
60	平成19年5月16日	「女性医師が病院でもっとも活躍するために」 ・女性医師のおかれている現状 医療センター医師のアンケートの結果から 都内の病院の状況・教育部	総合司会:黒木啓文(整形外科医長) 緩和ケア科 篠原明子 有岡宏子	66

	開催日	演題名	演者	人数
60	第54回	・病院における子育て支援体制 ・女性医師の支援の流れと日本医師会の取り組み ・How to survive in the battle field with Fellow (医療界でともに生き抜く方法)	大阪厚生年金病院長 清野佳紀先生 日本医師会男女共同参画委員会・再就職事業支援部長 保坂シゲリ先生 広島大学大学院保健学研究科保健学専攻心身機能生活制御科学講座 飛松良子先生	90
61	平成19年6月20日 第55回	「改訂された救急蘇生法」 ・はじめに ・新ガイドラインの主たる改訂点 ・改訂されたBasic Life Support(成人)のデモンストレーション ・改訂されたAdvanced Life Support(成人)のデモンストレーション ・おわりに ・質疑応答	総合司会:木村昭夫 救急部長 木村昭夫 救急部レジデント 小林憲太郎 院内看護師インストラクター (説明:七階南病棟師長 中村正美) 七階南病棟師長 中村正美 (説明:救急部レジデント 岡田一宏) 救急部長 木村昭夫	180
62	平成19年7月18日 第56回	「第一線の医療現場からのメッセージ:臨床研究」 ・臨床研究研修コースの紹介 ・楽しくやろうよ、臨床研究~ピロリと胃癌を中心として ・臨床家ならではのエビデンス創り~臨床研修・研鑽そして研究へ	総合司会:桐野高明 研究所長:桐野高明 内視鏡部長:上村直実 研究所遺伝子診断治療開発研究部長 加藤規弘	58
63	平成19年9月19日 第57回	「虐待」 —家族機能不全に直面した医療現場の苦悩と課題— 1. 法制度から見た医療機関の役割 2. 虐待を疑うとき 3. 講演「医療機関における虐待の対応」	総合司会:藤谷順子 ソーシャルワーカー 三枝政行 小児科、救急部 杏林大学医学教授 佐藤喜美	82
64	平成19年10月17日 第58回	「最先端の手術」 1. 受け口や出っ歯は治る? 2. 最近の眼科手術 3. 声帯麻痺の治療 4. 創を早く直すには	総合司会:黒木啓文 歯科口腔外科医長:丸山 豊 眼科医長:武田憲夫 耳鼻咽喉科医長:山田二郎 形成外科医長:松林薫美	89
65	平成19年10月25日 (臨時)	講演「死角のない医療とエスプリクリニック」	院長:近藤達也	128
66	平成19年11月21日 第59回	病院情報システムの今後 1. 病院情報システムの今後 —医療電子化はどうなるべきか— 2. IMCJとMITの共同研究 —過去データの分析中間報告—	総合司会:清水 利夫(副院長) 開原 成充 (国際医療福祉大学大学院長・東大名誉教授) 秋山 昌範 (マサチューセッツ工業大学ローン経営大学院 客員教授)	102
67	平成19年12月19日 第60回	病院感染管理 1. 病院感染で問題になる感染症の話題 2. 当院におけるMRSA分離株の分子疫学的検討 3. 医療従事者の感染対策 4. ICT病棟ラウンド 5. 当院における抗菌剤使用動向 6. トリアージ病棟の紹介及び新型インフルエンザ対策	総合司会:照屋 勝治 (エイズ治療・研究開発センター病棟医長) 照屋 勝治 (エイズ治療・研究開発センター病棟医長) 島田 佳世 (感染症制御研究部) 沼 直美 (専門外来師長) 黒田 恵美 (感染管理認定看護師) 斉藤 真一郎 (薬剤部・医薬品情報管理室長) 川名 明彦 (国際疾病センター特別疾病制圧医長)	86
68	平成20年 1月16日 第61回	医療事故防止 1. 医療におけるヒューマンエラー —なぜ間違えるどう防ぐ—	総合司会:上坂 義和 (神経内科医長) 河野 龍太郎 (自治医科大学医療安全学教室)	128
69	平成20年 2月20日 第62回	メタボリックシンドローム最前線 1. メタボリックシンドロームとは何か 2. 小児におけるメタボリックシンドローム —診断基準と我が国の現状—	司会:梶尾 裕 (糖尿病科医長) 野田 光彦 (糖尿病・代謝症候群診療部長) 西村 理明 (東京慈恵医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科講師)	98
		緩和ケア 1. 当院におけるがん疼痛緩和認定看護師の活動状況	総合司会:有賀 悦子 (緩和ケア科医長) 加藤 美鈴、前川 智子、西尾 綾子	

	開催日	演題名	演者	人数
70	平成20年 3月19日 第63回	～チームの協働～ 2. 看護に活かす緩和ケアのエッセンス ～癒しのアプローチ～	(がん性疼痛看護認定看護師) 阿部 まゆみ (名古屋大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 がんプロフェッショナル養成プラン 特任講師)	92
71	平成20年 3月25日 第64回	遺伝的多型性と多様性に学ぶ	講師: 笹月 健彦 (国立国際医療センター総長)	136
72	平成20年 4月16日 第65回	「CKD(慢性腎臓病)を考える」～その本質と日常臨床にどう迫るか?～ 1. CKDとは? 2. 糖尿病・メタボリックシンドロームとCKD 3. 循環器医から見た心腎連関 (CKD) 4. 実地医家からみたCKD	司会: 日ノ下 文彦 (腎臓内科・先駆的医療推進室医長) 日ノ下 文彦 (腎臓内科・先駆的医療推進室医長) 高橋 義彦 (内分泌代謝科医長) 岡崎 修 (循環器科・十階南病棟医長) 迫村 泰成 (さこむら内科)	108
73	平成20年 5月21日 第66回	「肝炎」～今、求められる対策とは?～ 1. 今後の肝炎診療において国立国際医療センターが果たすべき役割とは? 2. HIVとHBVの重複感染の現状 3. 国立病院機構肝疾患ネットワークにおける臨床研究	司会: 正木 尚彦 (第二消化器科医長) 正木 尚彦 (第二消化器科医長) 田沼 順子 (エイズ治療・研究開発センター医師) 八橋 弘 (国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター 治療研究部長)	170
74	平成20年 6月16日 第67回	「国立国際医療センターの現状」～今、行うべきこと、できることは何か～ 1. 「戸山病院から」 2. 「国府台病院から」 1) 児童精神 2) 精神救急	司会: 木村 壯介 (戸山病院長) 木村 壯介 (戸山病院長) 松枝 啓 (国立国際医療センター国府台病院長) 齋藤 万比古 (国立国際医療センター国府台病院第二病棟部長) 早川 達郎 (国立国際医療センター国府台病院三十三病棟医長)	134
75	平成20年7月16日 第68回	1. 「国立国際医療センターにおける臨床研究の発展のために」	司会: 梶尾 裕 (糖尿病科医長) 桐野 高明 (総長)	78
76	平成20年10月15日 第69回	「急性腹症」 1. 急性腹症の初期診療 2. 急性腹症の画像診断 3. 高齢者の急性腹症 4. 急性腹症の昔と今	司会: 齊藤 幸夫 (外科・第二病棟部長) 小林 憲太郎 (救急部医師) 相部 仁 (放射線科医師) 熊澤 慶吾 (外科医師) 齊藤 幸夫 (外科・第二病棟部長)	99
77	平成20年11月 4日 第70回	1. 「名実ともに評価される独立行政法人国立国際医療研究センターを目指して」	司会: 遠藤弘良 (運営局長) 講師: 高橋俊毅 (関東信越ブロック理事及び独立行政法人横浜医療センター院長)	183
78	平成20年12月17日 第71回	「神経救急」～これを見逃してはいけない!～ 1. 頭部救急疾患の画像診断 ～脳血管障害のCT診断を中心に～ 2. クモ膜下出血 ～見逃しゼロを目指して～ 3. 危険なめまいを見逃さないために 4. 教訓的なくも膜下出血の一例	司会: 上坂 義和 (神経内科医長) 蓮尾 金博 (放射線診療部長) 木村 昭夫 (緊急部長) 松田 俊一 (神経内科医師) 岡本 幸一郎 (脳神経外科・7階北病棟医長)	90
79	平成21年 1月21日 第72回	国立国際医療センターにおける臨床研究をめぐって 1. 総合医療を主軸とした統合的な臨床研究 2. 糖尿病における介入研究 (J-DOIT研究) 3. インフルエンザの死因となる劇症ARDS 4. 「臨床研究に関する倫理指針」の改正点 5. 独法化をふまえた国立国際医療センターにおける臨床研究	司会: 梶尾 裕 (糖尿病科医長) 新保 卓郎 (医療情報解析研究部長) 野田 光彦 (糖尿病・代謝症候群診療部長) 河内 正治 (手術部長) 石塚 直樹 (地域医療研究室長) 桐野 高明 (総長)	92
80	平成21年 2月18日 第73回	胸痛: 的確な診断に向けてのアプローチ 1. 胸痛: 総合診療科外来を訪れる患者背景と診療ポイント 2. 救急車で来院する胸痛を主訴とする疾患 3. 呼吸器疾患における胸痛 ～代表的な疾患とその特徴～	司会: 保坂 茂 (心臓血管外科医長) 水野 智美 (総合診療科医師) 佐藤 守仁 (救急部・緊急治療医長) 平野 聡 (呼吸器科医師)	97

	開催日	演題名	演者	人数
		4. 胸痛をきたす代表的な心疾患 5. 大動脈疾患における胸痛 ～診療のコツと落とし穴～	田守 唯一 (循環器科医師) 保坂 茂 (心臓血管外科医長)	
81	平成21年 3月18日 第74回	異状死 1. 救急現場における「異状死」の対応 2. 「異状死」理解のために ～監察医の観点から～ 3. 「異状死」の取り扱いについての制度上の問題点と最近の動向 4. 「裁判外紛争処理」について	司会: 遠藤久子 (臨床病理室医長) 佐々木 亮 (救急部医師) 福永 龍繁 (東京都監察医務院院長) 神谷 恵子 (弁護士) 清水 利夫 (副院長)	74
82	平成21年 4月22日 第75回	海外便り 1. イギリスでの臨床経験 2. 南半球での留学生 3. 公衆衛生学修士(MPH)取得の実績とその後のキャリアパス 4. アメリカの卒後 5. 総合討論	司会: 正田 良介 (総合外来部長、教育部長) 水野 智美 (総合診療科) 佐藤 典子 (小児科 4階南病棟医長) 水野 智美 (国際医療協力局) 能登 洋 (医療連携統括室長)	69
83	平成21年 5月20日 第76回	がんにも、がん以外にも役に立つチーム アプローチの緩和医療 1. チームの紹介 2. がん性疼痛認定看護師の活動～排便コントロールを中心に～ 3. チームとしての薬剤師の関わり 4. チーム活動で研修医が学んだこと 5. 緩和ケアチームにおける精神科医の役割 6. “…にもかかわらず、健康である暮らし”を支える緩和医療	司会: 本田 美和子 (ACC専門外来医長) 本田 美和子 (ACC専門外来医長) 加藤 美鈴 (5北病棟師長) 西尾 綾子 (がん性疼痛認定看護師) 百武 宏志 (薬剤部 薬剤師) 中川 堯 (研修医) 加藤 温 (精神科 医師) 本田 美和子 (ACC専門外来医長)	61
84	平成21年 6月17日 第77回	高度先進医療(その1) 1. 当センターにおける肝硬変患者の予後は改善されているか？ 2. HIV/HCV合併肝硬変患者に対する骨髄細胞注入療法 3. 幹細胞治療におけるCell proces 4. 脂肪由来の幹細胞と肝臓再生療法 5. ヒト万能細胞(ES細胞、iPS細胞)を駆使した高度先端医療 6. 新宿戸山町産の安全な細胞形質転換法開発 7. 高度先進医療へ向けて一造血幹細胞移植から再生医療・細胞輸注療法へ	司会: 湯尾 明 (血液疾患研究部長) 正木 尚彦 (第二消化器科医長) 塚田 訓久 ((ACC医師) 萩原 将太郎 (5北病棟医長) 大河内 仁志 (細胞組織再生医学研究部長) 湯尾 明 (血液疾患研究部長) 石坂 幸人 (難治性疾患研究部長) 三輪 哲義 (高度先進医療部長)	96
85	平成21年 7月15日 第78回	「DPC」 DPCの仕組みや導入に向けた院内体制の整備から、DPCデータを用いた医療の質評価、病院経営に与える影響、今後の方向	司会: 望月 篤 (医事第一課長) 講師: 長谷川 友記 (東邦大学医学部社会医学講座 教授)	59
86	平成21年10月21日 第79回	インフルエンザ ～今シーズンの対策～ 1. IMCJにおけるこれまでのインフルエンザ診療と今後 2. 今シーズンのインフルエンザワクチン 3. インフルエンザの社会的側面 4. クロージングリマーク	司会: 加藤 康幸 (国際医療支援室医長) 泉 信有 (国際疾病センター特別疾病征圧班医長) 金川 修造 (国際疾病センター渡航者健管理室医長) Peter Dishi (マサチューセッツ工科大学) 工藤 宏一郎 (国際疾病センター長)	132
87	平成21年11月18日 第80回	みんなで取り組もうNST 1. 「はじめに ～NSTとは何か～」 2. 「看護師の役割について」 3. 「WOCナースの役割について」 4. 「薬剤師の役割について」 5. 「臨床検査技師の役割について」 6. 「管理栄養士の役割について」 7. 「NST活動の成果 ～あおチームの事例紹介～」 8. 「造血幹細胞移植のアウトカム向上」	司会: 梶尾 裕 (糖尿病科医長) 河内 正治 (手術部長) 水口 京子 (看護部・看護師長) 鈴木 睦子 (WOC認定看護師) 竹木 正亘 (薬剤部・薬剤師) 館野 直道 (臨床検査部・主任) 曾部 知恵 (栄養管理室・主任) 丸谷 晶美 (あおチーム・薬剤師) 萩原 将太郎 (あかチーム・医長)	76
88	平成21年12月16日	看護の専門性とチーム医療 1. 看護の専門性について 2. 小児看護の専門性と今後の課題について	司会: 水江 麻紀子 (副看護部長) 田村 やよひ (国立看護大学長) 西海 真理 (国立成育医療センター小児看護専門看護師)	114

	開催日	演題名	演者	人数
88	第81回	3. 精神看護専門看護師の活動の可能性について	小川 弘美 (聖路加看護大学大学院精神看護専門看護師専攻)	114
89	平成22年 1月20日 第82回	世界3大感染症の1つ、結核は「現代の」病気です 1. 世界の結核、日本の結核 2. 薬剤耐性結核と分子疫学研究 3. 院内で発見された結核とその対策 4. 日本におけるIGRAsの費用効果分析 5. 海外拠点研究報告(ビデオあり)	司会:小林 信行(副看護部長) 市村 康典 中道 真仁(呼吸器科) 切替 照雄(国立成育医療センター小児看護専門看護師) 小川 信之 黒田恵美(院内感染防止委員会 結核小委員会) 小和田 暁子(葛飾区保健所) 慶長 直人(呼吸器疾患研究部長)	126
90	平成22年 2月17日 第83回	癌治療の最前線 ～分子標的薬の可能性～ [臨床の場から] (1) 大腸がん (2) 肺がん (3) 乳がん [基礎の場から]	司会:杉山 温人(呼吸器科 十二階南病棟医長) 竹下 恵美子(外科医師) 平野 聡(呼吸器科医師) 橋本 政典(外科 第二外科医長) 宮園 浩平(東京大学医学部分子病理学教授)	100
91	平成22年 3月17日 第84回	平成22年度診療報酬改定について	講師:帯谷 隆 (診療報酬分析研究所 所長)	104
92	平成22年 4月21日 第85回	世界の母子保健対策に対する国立国際医療研究センターの取り組み 1. カンボジア地域における母子保健サービス向上プロジェクトでの取り組み 2. ベトナム国フェ中央病院における母性・新生児看護の質向上への取り組み 3. 西アフリカベナン共和国における助産施設での青年海外協力隊活動 4. セネガルにおける妊産婦死亡の推計と政策提言 5. 仏語圏アフリカ母子保健研修とフォローアップ 6. 質疑応答	司会:三好 知明(国際医療協力部 派遣協力第二課長) 櫻井 幸枝(国際協力部 派遣協力第二課 助産師) 楯 朋子(前4階北産婦人科病棟 助産師 現12階南 呼吸器内科) 内田 早苗(前 派遣協力第一課 助産師 現4階南 小児科) 松井 三明(国際医療協力部 派遣協力第一課 医師) 杉浦 康夫(国際医療協力部 派遣協力第二課 医師)	86
93	平成22年 5月19日 第86回	これからの肝炎対策～国立国際医療研究センターに期待されるミッションとは～ 1. 肝硬変を有するHIV感染者に対する自己骨髄細胞投与療法 2. 最新の知見をいかに全国へ均てん化するか?～肝炎情報センターの役割～ 3. C型慢性肝炎に対するテラーメイド治療を目指して～インターフェロンλの意義	司会:正木 尚彦(肝炎情報センター長) 塚田 訓久(エイズ治療・研究開発センター) 正木 尚彦(肝炎・免疫研究センター) 溝上 雅史(肝炎・免疫研究センター長)	60
94	平成22年 6月22日 第87回	糖尿病の基礎と臨床のクロストール ～国立国際医療研究センターにおける取り組み～ 1. 糖尿病研究センターの設立に際して 2. 遺伝子改変マウスモデルを用いた糖尿病の分子機構の解明 3. 最新の知見をいかに全国へ均てん化するか?～肝炎情報センターの役割～ 4. 糖尿病・代謝疾患の遺伝解析と、分子メカニズムの探索 5. 糖尿病情報センター、臨床部門とその活動	司会:梶尾 裕(糖尿病・代謝症候群診療部 第一糖尿病科医長) 春日 雅人(糖尿病研究センター長) 松本 道宏(分子代謝制御研究部長) 鏑木 康志(臓器障害研究部長) 安田 和基(代謝疾患研究部長) 野田 光彦(糖尿病・代謝症候群診療部長)	83
95	平成22年 7月21日 第88回	2001年新型インフルエンザの流行をふりかえる 1. 当院における新型インフルエンザの影響 2. 小児重症例の臨床象 * 特別報告:小児の重症呼吸器合併症について 3. 新宿区内の新型インフルエンザ流行状況と医師会の対応 4. 東京都における新型インフルエンザ(AH1N1)の発生動向と対応	司会:加藤 康幸(国際医療支援室医長)・松下 竹次(小児科医長) 加藤 康幸(国際疾病センター 国際医療支援室医長) 瓜生 英子・大熊 喜彰(小児科) 稲毛 康司(日大練馬光が丘病院 小児科部長) 星野 洋(新宿区医師会:星野こどもクリニック院長) 前田 秀雄(東京都福祉保健局 感染症危機管理担当部長)	52
96	平成22年10月20日 第89回	知ると役立つリハビリテーション 1. 各種疾患の理学療法 脳神経・整形疾患・呼吸器・生活習慣病・がんのリハ・術前術後・廃用症候群 ・誤嚥性肺炎・小児…… 2. 言語聴覚士が行う言語と嚥下の訓練 3. 作業療法士の訓練とADL機器 4. サテライト・リハビリテーション	司会:黒木 啓文(整形外科医長)・藤谷 順子(リハビリテーション科医長) 近江 俊人(リハビリテーション科理学療法士(PT)) 関口 相和子(リハビリテーション科言語療法士(ST)) 吉田 静香・関谷 美里(リハビリテーション科作業療法士(OT)) 山田 知子(リハビリテーション科理学療法士(PT))	103
97	平成22年11月17日 第90回	手術室の最先端医療 1. 新しい手術室の紹介 2. 新しい手術室の特徴－看護の視点から 3. 腹部外科手術手技の最先端 上部消化管の内視鏡手術	司会:河内 正治(手術部長) 河内 正治(手術部長) 竹内 佐和子(手術室副看護師長) 山澤 那弘(外科医師)	59

	開催日	演題名	演者	人数
		肝胆膵の内視鏡手術 下部消化管の内視鏡手術 4. 血管外科手術の進歩—大血管ステントグラフ	枝元 良広 (外科医長) 竹内 佐和子 (手術室副看護師長) 竹内 佐和子 (手術室副看護師長)	
98	平成22年12月15日 第91回	新棟放射線診療部の最先端医療 1. 新棟放射線診療部の概要 2. 頭部・顔面頸部・脊椎 3. 循環器1 4. 循環器2 5. 胸部・末梢血管 6. 腹部領域	司会: 蓮尾 金博 (放射線診療部長) 蓮尾 金博 (放射線診療部長) 待鳥 詔洋 (放射線科医師) 諸井 雅男 (第一循環器内科医長) 原 久男 (第二循環器内科医長) 岡藤 孝史 (放射線科医師) 牛島 泰宏 (放射線科医師)	86
99	平成23年1月19日 第92回	薬剤耐性菌の現状と感染防止対策 1. 当院で発生したバンコマイシン耐性腸球菌感染症 2. 標準予防策と感染経路別予防策 3. 医療施設で新興している薬剤耐性菌について	司会: 照屋勝治 (エイズ治療・研究開発センター医長) 加藤 康幸 (国際疾病センター医長) 窪田 志穂 (専任感染管理看護師) 切替 照雄 (感染症制御研究部長)	71
100	平成23年2月16日 第93回	絆が生まれる瞬間 1. ~人とホスピタリティの舞台づくり~	司会: 木村壮介 (国立国際医療研究センター病院長) 講師: 高野 登 (人とホスピタリティ研究所 代表)	72
101	平成23年2月25日 (臨時)	クラウドによる文献管 EverNote, Dropbox, GoogleDocs 研修医に学んだ子コミュニケーションスキル	司会: 前原 康宏 (国立国際医療研究センター病院 麻酔科医長) 講師: 讃岐 美智義 (広島大学大学院 麻酔蘇生学講師)	72
102	平成23年4月20日 第94回	急性期病院における地域・医療連携の取り組み 1. 日本赤十字社医療センターでの取り組み 2. 昭和大学病院での取り組み 3. 関東中央病院での取り組み 4. 当院での取り組み	司会: 佐藤 朋子 (国立国際医療研究センター病院 副看護部長) 平野 美穂 (日本赤十字社医療センター総合医療相談室) 石原 ゆきえ (昭和大学病院総合相談センター) 小泉 一行 (関東中央病院地域医療室) 松村 幸子 (国立国際医療研究センター病院 副看護部長)	69
103	平成23年5月18日 第95回	東日本大震災と国立国際医療研究センターの被災地支援活動 1. 発災後急性期の医療支援活動 —DMAT— 2. 亜急性期から慢性期の医療支援活動 —避難所巡回診療(1)— 3. 亜急性期から慢性期の医療支援活動 —避難所巡回診療(2)— 4. 亜急性期から慢性期の医療支援活動 —避難所巡回診療(3)— 5. 支援活動のロジスティクス 6. 支援調整と地元保健師支援	司会: 三好 知明 (国立国際医療研究センター国際医療協力部 派遣協力第二課長) 佐々木 亮 (国立国際医療研究センター病院 救急科医師) 田沼 順子 (国立国際医療研究センター病院 ACC医師) 早川 祥子 (国立国際医療研究センター病院 7階東棟副看護師長) 赤沢 翼 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部薬剤師) 石沢 克巳 (国立国際医療研究センター病院 財務経理部 患者相談専門職) 野田 信一郎 (国立国際医療研究センター国際医療協力部 医師)	137
104	平成23年6月22日 第96回	つくし保育園 1. 院内保育に関するNCGM職員アンケート調査 結果報告 2. つくし保育園の歴史と今後 3. つくし保育園における食育	司会: 田沼 順子 (国立国際医療研究センター病院 ACC医師) 田沼 順子 (国立国際医療研究センター病院 ACC医師) 入船 益夫 (つくし保育園園長) 畑田 美和 (つくし保育園栄養士)	47
105	平成23年7月20日 第97回	・診療報酬はどのように決まるか ・薬が臨床現場に届くまで 1. 診療報酬はどのように決まるか 2. 薬が臨床現場に届くまで	司会: 松本 義幸 (国立国際医療研究センター 企画戦略室長) 待鳥 詔洋 (厚生労働省保健局医療課課長補佐) 小早川 雅男 (国立国際医療研究センター病院 消化器科医師)	51
106	平成23年8月24日 (臨時)	再生医療・細胞治療の今後の展望 1. 開会の挨拶 2. 信州大学先端細胞治療センターにおけるCPCt活用の取り組み 3. 癌ワクチン、樹状細胞ワクチン療法とはね及びその臨床成績 4. 再生医療・細胞治療の今後 5. 閉会の挨拶	司会: 杉山 温人 (国立国際医療研究センター病院 第二呼吸内科医長) 木村 壮介 (国立国際医療研究センター病院長) 下平 滋隆 (信州大学医学部付属病院輸血部准教授/先端細胞治療センターセンター長) 岡本 正人 (慶応義塾大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報研究部門 特任准教授) 米満 吉和 (九州大学大学院 薬学研究院 革新的バイオ医薬創成学 教授) 桐野 高明 (国立国際医療研究センター 総長)	94
107	平成23年10月19日 第98回	弁護士からみた医療現場の落とし穴 1. 安心して医療管理をなす心構え	司会: 松本 義幸 (国立国際医療研究センター 企画戦略室長) 講師: 菅原 哲朗 (弁護士 キーストーン法律事務所代表)	101
108	平成23年11月16日 第99回	「避けては通れない認知症」—皆で正しく取り組みましょう— 1. 認知症概説 2. 総合病院における認知症の現場 3. 認知症疾病医療センターについて	司会: 今井 公文 (国立国際医療研究センター病院 第一精神科医長) 今井 公文 (国立国際医療研究センター病院 第一精神科医長) 大谷 恭平 (国立国際医療研究センター病院 精神科医師) 石坂 典之 (国立国際医療研究センター病院 財務経理部 医事専門職)	75
109	平成23年12月21日 第100回	インフルエンザと喘息—早期介入療法 1. インフルエンザと喘息—早期介入療法	司会: 梶尾 裕 (国立国際医療研究センター病院 第一糖尿病科医長) 講師: 工藤 宏一郎 (国立国際医療研究センター病院・前国際疾病センター長)	71
110	平成24年1月18日	発明者(研究者)と知財管理室のwin-winの関係構築 1. 概論: 知的財産について	司会: 伊藤 俊之 (国際臨床研究センター 臨床研究支援部長) 講師: 助永 義和 (国際臨床研究センター臨床支援部知的財産管理室知財管理マネージャー)	42

	開催日	演題名	演者	人数
110	第101回	2. 研究を拡大する支援(論文とライセンス収入拡大) 3. 創薬:薬で会社へ貢献	開発医療部 知財開発室 室長	72
111	平成24年2月15日 第102回	・「助産力」を考える 1. Transforming Maternity Care 2. The maternity system in Amsterdam Area, Netherlands	司会:箕浦 茂樹 (国立国際医療研究センター病院 中央検査部長) Dr.Carol Sakala, PhD, MSPH (Director of Programs Childbirth Connection) Ms, M. W. Sanders-Bootsma (Coordinator, home-monitoring high risk pregnancies, the Academic Medical Centre, Amsterdam)	83
112	平成24年3月21日 第103回	・NCGMの将来像	司会:河内 正治 (国立国際医療研究センター病院 手術部長) 桐野 高明 (国立国際医療研究センター総長)	127
113	平成24年4月20日 第104回	・東日本大震災から1年を振り返って	司会:仲佐 保 (国立国際医療研究センター国際医療協力局 国際派遣センター長) 講師:石井 正 (宮城県災害医療コーディネーター、石巻赤十字病院 医療社会部長)	104
114	平成24年5月16日 第105回	・再生医療の最前線 1. iPS/ES細胞vs組織幹細胞 2. 細胞シートによる組織・臓器の創成	司会:仲佐 保 (国立国際医療研究センター病院 手術部長) 大河内 仁志 ((国立国際医療研究センター研究所 細胞組織再生医学研究部 部長) 清水 達也 (東京女子医科大学 先端生命医学研究所 教授)	78
115	平成24年6月20日 第106回	・漢方診療の最前線	司会:徳原 真 (国立国際医療研究センター病院 鏡視下手術領域外科医長) 講師:渡辺 賢治 (日本東洋医学会副会長、慶応義塾大学医学部 漢方医療センター 副センター長)	61
116	平成24年7月18日 第107回	HIV治療の現状と問題点 1. HIV治療の現状と問題点 2. :血友病の問題点 3. :ベトナム研究の紹介	司会:菊池 嘉 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター 臨床研究開発部長(ACC治療科長) 塚田 訓久 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター 医療情報室長 瀧永 博之 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター 治療開発室長 田沼 順子 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター 専門外来医長	84
117	平成24年9月19日 第108回	鏡視下がん手術の現況と今後の展望 1. 肺癌に対する完全胸腔下手術 当センターでの現況 2. 上部消化管領域における腹腔鏡下の応用 -LECS手術とは- 3. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術 4. 総合討論 (当センターにおける鏡視下手術の今後の展望)	司会:徳原 真 (国立国際医療研究センター病院 鏡視下手術領域外科医長) 嘉納 五月 国立国際医療研究センター病院 呼吸器外科医師 山澤 邦宏 国立国際医療研究センター病院 上部消化管外科医長 矢野 秀朗 国立国際医療研究センター病院 下部消化管外科医長	71
118	平成24年10月17日 第109回	医(いや)す者として はじめに 国際医療協力局の在外事業と地域保健、初期臨床研修と地域保健 映画「医(いや)す者として」上映	司会:仲佐 保 国際医療協力局 派遣協力センター長	52
119	平成24年11月21日 第110回	足を守る -NCGMでの集学的な取り組み- 1. 糖尿病と足病変 2. :フットケア外来での対応 3. :PADに対する薬物療法 4. :PADに対する血管内治療 5. :PADに対する血行再建術(TASC IIを踏まえて) 6. :下肢潰瘍・壊疽-どこまで切らずに直せるか- 7. :切断術 8. :血管新生療法	司会:藤谷 順子 国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科長 本田 律子 国立国際医療研究センター病院 第二糖尿病科医長 関根 典子 国立国際医療研究センター病院 第2外来副看護師長 糖尿病療養指導士 伊藤 真吾 国立国際医療研究センター病院 循環器科 原 久男 国立国際医療研究センター病院 循環器科内科長 戸口 幸治 国立国際医療研究センター病院 心臓血管外科 玉木 毅 国立国際医療研究センター病院 皮膚科長 正田 修巳 国立国際医療研究センター病院 整形外科 大河内仁志 国立国際医療研究センター 研究所細胞組織再生医学研究部 部長	65
120	平成24年12月19日 第111回	インフルエンザ -インフルエンザの本質と重症化のメカニズムに迫る- 1. インフルエンザとは? 2. 重症インフルエンザの病理と重症化のメカニズム	司会:河内 正治 国立国際医療研究センター病院 手術部長 河内 正治 国立国際医療研究センター病院 手術部長 中島 典子 国立感染症研究所感染病理部	46
121	平成25年1月16日 第112回	患者と医療者が協働する医療を目指して -患者が望む医療とは?-	司会:村岡 亮 国立国際医療研究センター病院 医療教育部 副部長 講師:山口 育子 NPO法人ささえあえ医療人権センターCOLM(コラム) 理事長	46
122	平成25年2月20日 第113回	専門・認定看護師の役割をチーム医療の実践の中から考える -役割拡大に向けて新たな挑戦- 1. 出産時の大量出血からICU管理となった母児の事例 2. :乳がんターミナルステージの患者の事例	司会:近藤 美紀 副看護師長 がん化学療法看護認定看護師 ・仁平 知保 ICU副看護師長 ・白石 若菜 NICU副看護師長 ・小川 弘美 副看護師長 ・鈴木 睦子 副看護師長 ・加藤 美鈴 看護師長	114

	開催日	演題名	演者	人数
		3. 意見交換		
123	平成25年4月17日 第114回	脳腫瘍のウイルス療法	司会: 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病・代謝・内分泌科長 講師: 藤堂 具紀 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター先端癌治療分野 教授	44
124	平成25年5月15日 第115回	NCGM海外拠点の活動と今後の展望 1. ベトナム・バックマイ病院 2. ラオス・パスツール研究所 3. マダガスカル・保健省 4. カンボジア・母子保健センター 5. ネパール・トリブバン大学医学部	司会: 三好 知明 国立国際医療研究センター国際協力局 派遣協力第二課長 金川修造 国立国際医療研究センター病院 国際感染症トラベルクリニック医長 狩野繁之 国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学マラリア研究部長 松井三明 国立国際医療研究センター国際協力局 医師 細川真一 国立国際医療研究センター病院 NICU科医長 切替照雄 国立国際医療研究センター研究所 感染症制御研究部長	63
125	平成25年6月19日 第116回	病院経営と会計の基礎	司会: 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病・代謝・内分泌科長 講師: 牧 健太郎 国立国際医療研究センター総長特任補佐 (牧公認会計士・税理士事務所)	100
126	平成25年7月17日 第117回	せん妄への対策を考える 1. せん妄概説 2. 認知症におけるせん妄 3. 緩和領域におけるせん妄 4. コンサルテーションの実際	司会: 今井 公文 国立国際医療研究センター病院 精神科診療科長 今井公文 国立国際医療研究センター病院 精神科診療科長 高橋卓巳 国立国際医療研究センター病院 精神科フェロー 岡 文恵 国立国際医療研究センター病院 精神科フェロー 加藤 温 国立国際医療研究センター病院 第二総合診療科医長	57
127	平成25年9月18日 第118回	大動脈解離	司会: 河内 正治 国立国際医療研究センター病院 病院長 講師: 木村壮介 国立国際医療研究センター病院 病院長	104
128	平成25年10月16日 第119回	風疹 1. 風疹流行の背景、社会的なインパクト、そしてNCGMの行った対策 2. 風疹の診断: 見落とさないためには	司会: 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病・代謝・内分泌科長 大曲貴夫 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター長 國松淳和 国立国際医療研究センター病院 総合診療科	46
129	平成25年11月20日 第120回	先進医療 1. 先進医療の概説 2. FDG-PET/CTの不明熱診断への応用 3. 腹膜偽粘液腫に対する減量切除術と周術期腹腔内化学療法	司会: 小早川 雅男 国立国際医療研究センター 臨床研究相談室長 小早川雅男 国立国際医療研究センター 臨床研究相談室長 窪田和雄 国立国際医療研究センター病院 核医学科医長 矢野秀朗 国立国際医療研究センター病院 下部消化管外科医長	63
130	平成25年12月18日 第121回	HIV感染症 過去・現在・未来 1. 開会の挨拶 世界の流れ 2. 抗HIV療法について 3. ACC研究の変遷 4. 外来患者概況 5. 専門病棟入院患者概況 6. 質問応答 閉会の挨拶	司会: 菊池 嘉 国立国際医療研究センター 臨床研究開発部長 岡 慎一 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長 塚田訓久 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 医療情報室長 湯永博之 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 治療開発室長 西城淳美 国立国際医療研究センター病院 専門外来師長 服部久恵 国立国際医療研究センター病院 12階東病棟師長 菊池 嘉 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 臨床研究開発部長	71
131	平成26年1月15日 第122回	コミュニケーションが困難な高齢者に優しさを届けるフランス発祥のケア、ユマニチュード 1. ユマニチュードとは 2. ユマニチュードの具体的な技術と効果	司会: 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病・代謝・内分泌科長 本田美和子 国立病院機構東京医療センター 総合内科医長 盛 真知子 国立病院機構東京医療センター 退院支援看護師 金沢小百合 国立国際医療研究センター病院 16階 副看護師長	72
132	平成26年2月19日 第123回	専門・認定看護師の役割をチーム医療の実践の中から考える 1. 専門・認定看護師会の活動紹介 2. 専門・認定看護師が関わった事例通して活動を紹介 3. 事例で紹介できなかった専門・認定看護師の活動紹介	司会: 高野裕美子 国立国際医療研究センター病院 がん性疼痛看護認定看護師 看護師長 ・高野裕美子 国立国際医療研究センター病院 がん性疼痛看護認定看護師 ・藤井美幸(救急看護) ・米廣由紀(集中ケア) ・及川敦子(がん化学療法看護) ・堀内景子(脳卒中リハビリテーション看護) ・小川弘美(リエゾン精神看護) ・石井光子(皮膚・排泄ケア) ・森清綾子(がん性疼痛看護) ・肴屋絵里香(糖尿病看護) 松木優子(感染看護・管理)	103
133	平成25年3月19日 第124回	平成26年度 診療報酬の改定について —改定の全体像と急性期病院の影響—	司会: 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病・代謝・内分泌科長 講師: 渋谷英一 株式会社ニチイ学館 医療関連事業 統括本部事業部 事業推進課	119
134	平成26年4月16日 第125回	ベトナム海外拠点 挑戦する人たち 1. ベトナムのエイズ研究と世界への貢献 2. ベトナム結核症 3. ベトナムにおける医療関連感染症および抗菌薬耐性菌感染症 4. ITシステムを使った生活習慣病予防プログラム 5. 国立フェ中央病院小児科とともに 6. アジア大陸で蔓延し日本で蔓延していない薬剤耐性菌 7. ベトナム・ネパールにおけるマラリア対策とヘルスシステム強化 8. 企業向けベトナム保健医療セミナー	司会: 明石 秀親 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 研修企画課長 岡 慎一 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長 慶長先生 結核研究所 櫻田紳策 国立国際医療研究センター国際医療協力局派遣協力第二課専門職 他 大曲貴夫 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 松下由実 国立国際医療研究センター 臨床研究推進室長 佐藤典子 国立国際医療研究センター病院 第二小児科医長 切替照雄 国立国際医療研究センター 感染症制御研究部長 秋山先生代理 小原 博 国立国際医療研究センター 国際医療協力局派遣協力第一課専門職 宮野先生 国立国際医療研究センター 国際医療協力局	66

	開催日	演題名	演者	人数
		9. ベトナム拠点を使った日本人人材養成研修 11. ベトナム海外拠点のこれから	橋本先生 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 岡 慎一 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長	
135	平成26年5月21日 第126回	食道がんの診断と治療 ～チーム医療の実践に向けて～ 1. 食道がんとは 2. 食道がんの内視鏡治療 3. 食道がんの化学放射線療法 4. 食道がんの外科治療	司会: 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科診療科長 山田和彦 国立国際医療研究センター病院 食道外科医長 横井千寿 国立国際医療研究センター病院 消化器内科内視鏡担当主任 小島康志 国立国際医療研究センター病院 第四消化器内科医長 山田和彦 国立国際医療研究センター病院 食道外科医長	91
136	平成26年6月18日 第127回	東京大学生産技術研究所との共同研究の現状と今後の可能性 -共同研究のさらなる展開に向けて- 1. 東大・生産技研のバイオメディカル研究概要 2. ヒトiPS細胞から臍島を誘導して臨床応用を目指す研究 3. 細胞を用いる糖鎖合成と診断や薬剤探索への応用 4. 複雑数値モデル学の医療への応用 5. マルチモダリティによる冠循環モデルとシミュレーション 6. 総合討論	司会: 石坂 幸人 国立国際医療研究センター 研究所副所長・難治性疾患研究部長 酒井康行 統合バイオメディカルシステム国際研究センター センター長・教授(臓器・生体システム工学) 大河内仁志 国立国際医療研究センター 細胞組織再生医学研究部長 畑中研一 東京大学生産技術研究所 物質・環境系 教授(バイオマテリアル工学) 平田祥人 先端数値モデル連携研究センター 特任准教授(非線形時系列解析) 諸井雅男 国立国際医療研究センター病院 循環器内科医員	40
137	平成26年7月16日 第128回	糖尿病克服への挑戦-NCGMの取り組み-	司会: 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科診療科長 講師: 植木浩二郎 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター長	72
138	平成26年9月17日 第129回	世界とつながる身近な結核 ～都市型結核の未来を考える～ 1. 結核概論 世界の結核・日本の結核 2. NCGM結核病棟からの発信～都市型結核の最前線 3. NCGM国際医療協力局からの発信～世界の結核対策への貢献	司会: 梶尾 裕(国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科診療科長) 森野英里子 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科医師 高崎 仁 国立国際医療研究センター病院 結核病棟業務担当、前田愛子: 結核病棟看護師 櫻田紳策 国立国際医療研究センター国際医療協力部、柳川泰昭 エイズ治療・研究開発センターフェロー	66
139	平成26年10月15日 第130回	NCGMセンター病院の自由診療分野の展開について 1. 不妊治療 2. トラベルクリニック～検診事業 3. 人間ドック	司会: 橋本政典 国立国際医療研究センター病院 副院長 大石 元 国立国際医療研究センター病院 産婦人科産科医長 金川修造 国立国際医療研究センター 国際感染症センタートラベルクリニック医長 志賀智子 国立国際医療研究センター病院 健診統括科長	66
140	平成26年11月19日 第131回	エボラ出血熱への備え～日本の医療機関として学んでいること～ 1. うたがい症例への対応の中から学んだこと 2. 2次感染予防の取り組み 3. 新興感染症への備え～これまでとこれから～	司会: 大曲貴夫 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 的野多加志 国立国際医療研究センター 総合感染症コース フェロー 杵木優子 国立国際医療研究センター 院内感染対策室 副看護師長 大曲貴夫 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長	181
141	平成26年12月17日 第132回	バイオバンク 1. オープニング 2. NCBN(ナショナルセンターバイオバンクネットワーク)について 3. 国立循環器病研究センターバイオバンクの現状と特色 4. NCGMにおけるバイオバンクの登録、試料管理と実績 5. NCGMにおけるBBの現状と今後の方向性について	司会: 日ノ下文彦 国立国際医療研究センター 臨床研究連携・バイオバンク部門長 日ノ下文彦 国立国際医療研究センター 臨床研究連携・バイオバンク部門長 加藤 規弘 NCBN事務局長(遺伝子診断治療開発研究部長) 宮本恵宏 国立循環器病研究センター 副バイオバンク長 鈴木哲史 国立国際医療研究センター バイオバンク推進マネージャー 日ノ下文彦 国立国際医療研究センター 臨床研究連携・バイオバンク部門長	49
142	平成27年1月21日 第133回	プロフェッショナルナース 看護の流儀 ～卓越した知識と技術による実践～ 1. Introduction～専門・認定看護師とは～ 2. 専門・認定看護師の卓越した実践活動を事例を通して紹介 ①WOCナースはこう見る！ ②感染症看護専門看護師はこう見る！	司会: 堀内景子 国立国際医療研究センター 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師/副看護師長 近藤美紀 国立国際医療研究センター がん化学療法認定看護師/副看護師長 石井光子 国立国際医療研究センター 皮膚排泄ケア認定看護師/副看護師長 石井祥子 国立国際医療研究センター 感染症看護専門看護師/看護師	81

	開催日	演題名	演者	人数
143	平成27年2月18日 第134回	これからの医療連携—新宿区発の新しい医療連携の可能性— 1. 医師会が基幹病院の連携に望むこと 2. パネルディスカッション:地域における大学病院・基幹病院の連携をさぐる	司会:橋本政典 国立国際医療研究センター病院 副院長 藤本 進 新宿区医師会理事(在宅・医療連携) 林 星舟 大久保病院副院長 医療連携担当 笠井昭吾 東京山手メディカルセンター 地域連携室長 瀬下明良 東京女子医大病院 社会支援部運営部長 櫻井博文 東京医大病院 総合相談・支援センター副センター長 溝尾 朗 東京新宿メディカルセンター 地域連携・総合相談センター長 徳原 真 国立国際医療研究センター 医療連携室長	65
144	平成27年3月18日 第135回	「日本医工ものづくりコモンズ」との連携に向けた取り組み 1.はじめに 大西 真(NCGM副院長) 2.「医療分野とものづくり分野の融合の重要性」 3.「医療機器開発の成功率を高める手法(製販ドリブンモデル)」 4.「出口を見据えた医療機器開発」 5.「ニーズと技術シーズの融合、「近赤外線を用いたデバイス発」」 6.「開発途上国での皮膚科診療におけるニーズ」 7. 連携協定の調印式(写真撮影)	司会:石坂 幸人 国立国際医療研究センター 研究所副所長 大西 真 国立国際医療研究センター 副院長 谷下 一夫 日本医工ものづくりコモンズ理事 早稲田大学ナノ理工学研究機構研究院教授 柏野 聡彦 一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ理事 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 望月 修一 国立国際医療研究センター 臨床研究センター医療情報解析研究部長 前多 宏信 株式会社 フジタ医科器械 代表取締役 四津 里英 国立国際医療研究センター 皮膚科医師	55
145	平成27年4月15日 第136回	肝炎・免疫研究センターが目指すもの—臨床と研究を結ぶ オープニング 1. 国府台病院におけるバイオバンクの取り組みと肝疾患克服に向けたヒトゲノム研究への応用 2. 環境応答ネットワークによる免疫応答ならびに自己免疫疾患に対する作用機序 3. 臨床検体の解析からはじまった我々の基礎研究とその臨床応用 4. 免疫疾患関連遺伝子から治療標的へ迫る 5. 肝がんの微小環境—病(やまい)は場(ば)から	司 会:溝上雅史 国立国際医療研究センター国府台病院 肝炎・免疫研究センター長 溝上雅史 国立国際医療研究センター国府台病院 肝炎・免疫研究センター長 杉山真也 国立国際医療研究センター国府台病院 肝疾患研究部主任研究員 木村彰宏 国立国際医療研究センター国府台病院 免疫病理研究部室長 河村由紀 国立国際医療研究センター国府台病院 消化器疾患研究部室長 高木 智 国立国際医療研究センター国府台病院 免疫制御研究部部長 考藤達哉 国立国際医療研究センター国府台病院 肝疾患部長	48
146	平成27年5月20日 第137回	チャイルドサポート オープニング 1.「チャイルドサポート—悲しみを笑顔に変える力—」 2.「チャイルドライフスペシャリストと協働した家族支援」事例紹介	司会:七野浩之 国立国際医療研究センター病院 小児科診療科長 七野浩之 国立国際医療研究センター病院 小児科診療科長 大曲睦恵 国立国際医療研究センター病院 チャイルドライフスペシャリスト 小川弘美 国立国際医療研究センター病院 リエゾン精神看護専門看護師	49
147	平成27年6月17日 第138回	肝がん粗死亡率ワースト1位返上のために ~「データベース構築」および「ダイバーシティ・マネジメント」、「ソーシャルマーケティング手法」を駆使した肝炎総合対策~ 1. はじめに 2. 講演	三好知明 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 人材開発部長 江口有一郎教授 佐賀大学医学部 肝疾患医療支援学講座 肝疾患センター	26
148	平成27年7月15日 第139回	ベトナム海外拠点 10周年を迎えて 1. ベトナム拠点の歩み 2. ベトナムにおけるエイズ研究と世界への貢献 3. ベトナムの結核症 4. ベトナムにおける医療関連感染症、および抗菌薬耐性菌感染症 5. アジア大陸で蔓延し日本で蔓延していない薬剤耐性菌 6. バクマイ病院における 鳥インフルエンザならびに呼吸器ウイルス感染症の 診断に関する国際連携研究 7. 拠点を使った日本人の人材育成 8. ベトナムの糖尿病 9. ITシステムを使った生活習慣病予防プログラム 10. ベトナムの腎臓内科と人材育成 11. 小児疾患関連 12. 平成27年度医療技術等国際展開推進事業	司会:三好 知明 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 人材育成部長 明石秀親 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 連携協力部長 岡 慎一 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長 慶長直人 大曲貴夫 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 切替照雄 国立国際医療研究センター 感染症制御研究部長 高崎 仁 国立国際医療研究センター 呼吸器内科医師 橋本千代子 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 研修課長 松下由実 国立国際医療研究センター 臨床研究推進室長 松下由実 国立国際医療研究センター 臨床研究推進室長 日ノ下文彦 国立国際医療研究センター 腎臓内科診療科長 七野浩之 国立国際医療研究センター 小児科診療科長 明石秀親 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 連携協力部長	59
149	平成27年9月11日 第140回	患者サポート体制と医療メディーエーション ~患者と医療者間のボタンの掛け違いが起きないための医療対話とは~	司 会:廣井透雄 国立国際医療研究センター病院 医療安全管理室 室長 講 師:依田 明久 国立がん研究センター中央病院 患者相談室 室長	71

	開催日	演題名	演者	人数
150	平成27年10月21日 第141回	NCGMにおける先覚的取り組み その1 1. 当院の胃癌治療 ～腹腔鏡手術のUP TO DATE～ 2. 重症喘息に対する新規非薬物療法 ～気管支サーモプラスティ～ 3. 難病としての内分泌疾患 ～難治性稀少疾患への取り組み～ 4. 歯科・口腔外科とはいかなる診療科か？ ～当科が担う先進の顎口腔機能治療～	司会: 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科診療科長 野原京子 国立国際医療研究センター病院 外科医師 飯倉元保 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科医長 田辺晶代 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科医長 丸岡 豊 国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科診療科長	48
151	平成27年11月19日 第142回	NCGMにおける高度生殖医療の取り組み	司会: 橋本政典 国立国際医療研究センター病院 副院長 講師: 大石 元 国立国際医療研究センター 産科医長	39
152	平成27年12月16日 第143回	医事紛争における最近の話題～患者側弁護士の立場から	司会: 廣井透雄 国立国際医療研究センター病院 医療安全管理室 室長 講師: 細川 大輔 細川大輔法律事務所、医療問題弁護士会所属	61
153	平成28年1月20日 第144回	小児期発症疾患を有する患者の成人移行期医療について 1. 成人期医療へのトランジションとは何なのか 2. 国立成育医療研究センターの取り組み～とくにトランジション外来について 3. 両センターの各診療科スタッフの顔合わせ	司会: 橋本政典 国立国際医療研究センター病院 副院長 横谷 進 国立成育医療研究センター 副院長 江崎 陽子 国立成育医療研究センター 外来副看護師長、窪田 満 総合診療部長	80
154	平成28年2月17日 第145回	メンタルヘルス～ストレスを味方にする工夫～ 1. NCGMにおけるメンタルヘルス対応体制とストレスチェック制度の紹介 2. ストレスを味方にする工夫	司会: 今井 公文 国立国際医療研究センター病院 精神科診療科長 加藤 温 国立国際医療研究センター病院 総合診療科診療科長 小松 秀樹 国立国際医療研究センター病院 労務管理室長 熊野 宏昭 早稲田大学人間科学学術院教授	64
155	平成28年3月18日 第146回	新しい医工連携を目指す「MINCの会」 1. 「MINの会」1年間のレジメ 2. 「臨床ニーズに立脚した医療機器開発の道筋」 3. 「簡単じゃないけど面白い医工連携: win-winの関係をめざして」 4. 「皮膚遠隔診療: eSkin Healthプロジェクト -医工連携のアプリカ・フィールド臨床応用へ向けた道のり-」 5. 医工連携による日本の先端情報科学技術を利用したユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のための保健医療サービス提供の最適化に関する研究 6. 「経済産業省における平成28年度事業(研究開発支等)について」 7. 「東京都の医工連携事業と開発助成金について」 8. 総括	司会: 石坂 幸人 国立国際医療研究センター研究所 副所長 石坂 幸人 国立国際医療研究センター研究所 副所長 谷下 一夫 一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ 常任理事 早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 研究院教授 藤谷 順子 国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科診療科長 四津 里英 国立国際医療研究センター病院 皮膚科医師 松下 由実 国立国際医療研究センター臨床研究センター 臨床研究推進室長 門田 靖 関東経済産業局 地域経済部 次世代産業課長 佐藤 直 東京都産業労働局商工部創業支援課 課長代理(成長産業担当) 大西 真 国立国際医療研究センター病院 副院長	43
156	平成28年4月20日 第147回	看護の質の向上に向けた専門・認定看護師の活用法 1. 認知症看護認定看護師の役割 2. 安全・安楽・確実な化学療法看護を目指して 3. 看護の質向上のための糖尿病看護認定看護師の多くの活用法 4. SCUから始める社会復帰支援	司会: 竹内 佐和子 国立国際医療研究センター病院 手術看護認定看護師/副看護師長 丸藤 由紀 国立国際医療研究センター病院 認知症看護認定看護師 及川敦子、渚 幸恵 国立国際医療研究センター病院 化学療法看護認定看護師 肴屋 絵里香 国立小才医療研究センター 糖尿病看護認定看護師 堀内 景子 国立国際医療研究センター病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	60
157	平成28年5月25日 第148回	ベトナム海外拠点 報告会 1. 高病原性鳥インフルエンザ 2. 院内感染対策研究の成果 3. HIV/AIDSハノイコホート研究 4. ベトナム海外拠点の新たな展開、国際展開推進事業・NCGM事業と外部委託事業の概要報告 5. ベトナムにおける糖尿病等の生活習慣病研究 6. 腎臓分野の支援 7. 国際保健医療等の協力研修活動報告 8. 国際展開推進、拠点事業報告	司会: 明石 秀親 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 連携協力部長 高崎 仁 国立国際医療研究センター 呼吸器内科医師 竹下 望 国立国際医療研究センター 国際感染症センター医師 岡 慎一 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長 杉浦 康夫 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 展開支援課長 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科診療科長 多田 真奈美 国立国際医療研究センター 腎臓内科医師 三好 知明 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 人材開発部長 安保 勝裕 国立国際医療研究センター 副診療放射線技師長	40
158	平成28年6月15日 第149回	脳梗塞治療の最前線 1. これまでの脳梗塞治療 2. 奇跡の血栓回収術ー驚愕の血管内治療の進歩！ 3. 生活をリハビリに！ADLカンファレンス 4. 総合討論(質疑応答) 閉会の挨拶	司会: 岡本 幸一郎 国立国際医療研究センター病院 脳神経外科診療科長 竹内壮介 国立国際医療研究センター病院 神経内科診療科長 井上雅人 国立国際医療研究センター病院 脳神経外科医師 堀内景子 国立国際医療研究センター病院 SCU副看護師長 土田貴子 国立国際医療研究センター病院 9階西病棟副看護師長 原 徹男(副院長、第一脳神経外科医長、SCU科医長)	88
159	平成28年7月20日 第150回	クリニカルクエスションの構造化と医師主導治験～壁・壁・壁…そして落とし穴	司会: 杉山 温人 国立国際医療研究センター病院 診療運営管理部門長/呼吸器内科診療科長 講師: 勝沼 俊雄 東京慈恵会医科大学附属第三病院 小児科診療部長	28
160	平成28年9月21日	増加する外国人患者の受け入れ体制整備: 進捗状況と課題 オープニング～国際診療の取り組み状況 1. 患者・家族、医療者のための言語サポート	司会: 原 徹男 国立国際医療研究センター病院 副院長 原 徹男 国立国際医療研究センター病院 副院長 小山内 泰代 国立国際医療研究センター病院 国際診療部 コーディネーター	56

	開催日	演題名	演者	人数
160	第151回	2. 外来・病棟から介入依頼のあった事例 ～国際診療部の活用例～ 3. 外国人患者の医療費支払い 前原竜也 4. 「その書類は書いて大丈夫ですか？」注意が必要な文書について	二見 茜 国立国際医療研究センター病院 国際診療部 コーディネーター 前原 竜也 国立国際医療研究センター病院 医事課 医事係長 堀 成美 国立国際医療研究センター病院 国際診療部 コーディネーター	30
161	平成28年10月19日 第152回	下肢PADに対する治療 ―足を救うための総合的な取り組み― Opening remark: NCGMIにおける足治療の取り組みについて 1. 東京医科大学病院のフットケアチームと形成外科での創管理 2. 内科治療を中心とした下肢PADへの取り組み 3. 外科治療を中心とした下肢PADへの取り組み 4. 再生医療を中心とした下肢PADへの取り組み Closing remark	廣井 透雄 国立国際医療研究センター病院 副院長 座 長: 藤谷 順子 国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科診療科長 演 者: 松村 一 東京医科大学 形成外科学分野 主任教授 座 長: 福田 尚司 国立国際医療研究センター病院 心臓外科医長 演 者: 岡崎 徹 国立国際医療研究センター病院 循環器内科医師 座 長: 原 久男 国立国際医療研究センター病院 循環器内科医長 演 者: 亀井 亮佑 国立国際医療研究センター病院 膠原病科医師 山下 裕之 国立国際医療研究センター病院 膠原病科医長 福田 尚司 国立国際医療研究センター病院 心臓外科医長 座 長: 日ノ下 文彦 国立国際医療研究センター病院 腎臓内科診療科長 演 者: 大河内 仁志 国立国際医療研究センター研究所 細胞組織再生医学研究部長 石浦 信子 国立国際医療研究センター病院 皮膚科医師 池田 竜士 国立国際医療研究センター病院 理学療法士 福田 尚司 国立国際医療研究センター病院 心臓外科医長 廣井 透雄 国立国際医療研究センター病院 副院長	55
162	平成28年11月16日 第153回	医薬品副作用被害救済制度について	司 会: 内野 悦夫 国立国際医療研究センター病院 副薬剤部長 講 師: 阿佐野 霞 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 健康被害救済部調査第二課	38
163	平成28年12月21日 第154回	退院調整 1. イントロダクション これからの「退院調整」で知っておいた方が良いこと ～地域医療構想と地域包括ケア～ 2. 患者さんを引き受ける立場から 療養型病院 緩和ケア病棟 在宅診療所 訪問看護ステーション ケアマネージャー 3. 退院ケースカンファレンス	徳原 真 国立国際医療研究センター病院 医療連携室長 氏家 隆 セントラル病院統括院長 林 茂一郎 佼成病院 緩和ケア科部長 英 裕雄 新宿ヒロクリニック院長 細谷 恵子 目白訪問看護ステーション 森岡 真也 株式会社モテギ 新宿ケアセンター長 加藤 美鈴 国立国際医療研究センター病院 退院調整看護師長 芳田 玲子 国立国際医療研究センター病院 医療社会事業専門職 中山 照雄 国立国際医療研究センター病院 医療社会事業専門員	79
164	平成29年1月18日 第155回	虐待 1. イントロダクション 当院の虐待対策委員会の概要について 国立国際医療研究センター病院 2. 当院の虐待症例の現状 「当センターが経験した小児虐待のまとめ」 「当院に救急搬送された高齢者虐待疑い患者の現状」 3. 「医療機関における子ども虐待対応～気になる子ども・家族にであつたら～」	佐藤 典子 国立国際医療研究センター病院 小児科医長 大熊 喜彰 国立国際医療研究センター病院 小児科医師 小林 憲太郎 国立国際医療研究センター病院 救急科医師 小橋 高介 先生 松戸市立病院小児医療センター小児科 医長 / 日本子ども虐待医学会 代議員	55
165	平成29年2月15日 第156回	NCGMから「臨床研究・治験」を発信しよう！！ 1. 「なぜ臨床研究が必要なの？」 2. 「NCGMの治験の現状は？」	北條 泰輔(国立国際医療研究センター病院 副臨床研究センター長) 渡邊 裕司(国立国際医療研究センター病院 臨床研究センター長) 近藤 直樹(国立国際医療研究センター病院 治験管理室長)	53
166	平成29年3月15日 第157回	チーム医療 1. 認知症チーム 2. リエゾンチーム 3. 周術期管理チーム(SCRUM) 4. 栄養サポートチーム(NST) 5. 呼吸サポートチーム(RST) 6. 褥瘡チーム 石井 光子 7. 臨床倫理サポートチーム(EST)	司会: 中村 直子 国立国際医療研究センター病院 副看護部長 丸藤 由紀 国立国際医療研究センター病院 13階副師長 曾根 英恵 国立国際医療研究センター病院 臨床心理士 川原 典子 国立国際医療研究センター病院 10西看護師 大橋 恵理 国立国際医療研究センター病院 管理栄養士 岡本 竜哉 国立国際医療研究センター病院 集中治療科長 石井 光子 国立国際医療研究センター病院 副師長(WOC看護師) 中山 照雄 国立国際医療研究センター病院 医療社会事業専門員	47
167	平成29年4月19日	NCGMIにおける先進的な取り組み その2 1) 前立腺癌診療の最近の話題	司会: 梶尾 裕 (国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科診療科長) 久米春喜 国立国際医療研究センター病院 泌尿器科診療科長	42

	開催日	演題名	演者	人数
	第158回	2)心臓血管外科新チームの紹介 3)糖尿病情報センターの取組み～疫学・データベース研究・臨床研究	宝来哲也 国立国際医療研究センター病院 心臓血管外科診療科長) 大杉 満 国立国際医療研究センター病院 糖尿病情報センターセンター長・糖尿病内分泌代謝科医長)	
168	平成29年5月17日 第159回	再建外科最前線 ～スーパーマイクロサージャリーとリンパ外科治療～	司会:大曲 貴夫 国立国際医療研究センター病院 副院長・国際感染症センター長 講師 山本 匠東京都立墨東病院 形成外科	85
169	平成29年6月21日 第160回	ベトナム海外拠点 報告会 1.ベトナムにおける生活習慣病研究(肥満を中心に) 2.ベトナムにおける多剤耐性グラム陰性桿菌感染症、および血流感染症等の医療関連感染症の疫学研究 3.ますます充実してきたハノイHIVコホート 4.アジアを中心とするグローバル臨床研究ネットワーク拠点形成事業 腎臓透析分野におけるバクマイ病院との協力 国際保健医療等の協力研修活動報告 ベトナム結核症の研究(結核菌北京型株の蔓延と多剤耐性に関わる研究) インフルエンザを含む重症呼吸器感染症の疫学・臨床研究 ベトナムにおける小児がん支援 国際展開推進・放射線技術薬剤部門強化』 放射線技術部門報告: 薬剤部門報告: 国際展開推進・ベトナムにおける脳卒中診療の質の向上に対する支援	司会:三好知明 国際医療研究センター病院 国際医療協力局 人材開発部長 梶尾 裕 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝診療科長 石金 正裕 国立国際医療研究センター病院 DCC 岡 慎一 国立国際医療センター病院 ACC長 渡辺 裕司 国立国際医療研究センター病院インターナショナルトライアル部 多田 真奈美 国立国際医療研究センター病院 腎臓内科 橋本 千代子 国立国際医療研究センター国際医療協力局研修課長 結核研究所 慶長先生 高崎 仁 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科 七野 浩之 国立国際医療研究センター病院 小児科診療科長 金井 一能 国立国際医療研究センター病院診療放射線技師 瀬戸 恵介 国立国際医療研究センター病院 薬剤部医薬品情報管理主任 原 徹男 国立国際医療研究センター病院 脳神経外科診療科長(副院長)	54
170	平成29年7月19日 第161回	臓器提供と臓器移植 国内の移植医療の現状 NCGMIに於ける臓器移植への取り組み 当院での臓器移植について ①当施設におけるこれまでの臓器提供の実際 ②当センターで実施した臨床同種膵島移植について	司会:井上 雅夫 国立国際医療研究センター病院 院内移植コーディネーター委員 橋本 成美 東京都臓器移植コーディネーター 竹内 壮介 国立国際医療研究センター病院脳死判定委員会委員長 佐々木 亮 国立国際医療研究センター病院 救急科 霜田 雅之 国立国際医療研究センター病院 膵島移植プロジェクト長	49